

One-click Lambda setup prompt

Lambda コンソールから、AIエージェントの準備をコピー一発で

AWS 公式資料をもとに解説

いきなり結論

Lambda を作るボタン ではない

AIエージェントの セットアップ指示書 を渡す機能

コンソールでコピー → Cursor などに貼る → エージェントが準備を実行

何がつらかったか

AIエージェント（Cursor など）で Lambda をちゃんとやるには、以前は準備が大変でした

1. どのスキルを入れるか調べる
2. MCP の設定方法を探す
3. 設定ファイルを手で書く
4. 専用スキルの存在に気づく

ドキュメントがバラバラで、**最初の半日がセットアップ**になりがちでした

公式資料：概要

1 One-click Lambda setup prompt とは

AIエージェントをワンクリックでLambda開発向けにセットアップし、
設計・実装・テスト・デプロイまでを強力にサポート



AWS Lambda コンソール



Set up your agent
to build with Lambda

✦ Copy agent prompt

このプロンプトを
コピーして
AIエージェントに
貼り付けるだけ！

この機能でできること

- ✓ Lambda開発に最適化されたAIエージェント環境を自動構築
- ✓ AWSのベストプラクティスに基づいたコード・構成を生成
- ✓ 設計から実装、テスト、デプロイ、運用までを一気通貫でサポート



© 2026, Amazon Web Services, Inc. or its affiliates. All rights reserved.

Lambda コンソールの「Copy agent prompt」をコピーして、AIエージェントに貼る

One-click Lambda setup prompt

説明：これは何の機能？

ワンクリックで Lambda 関数を作る機能ではありません

代わりにやること：

- AIエージェントを **Lambda 開発向け** にセットアップする
- 設計・実装・テスト・デプロイまで支援しやすくする

ポイント：便利なのは「ボタン」そのものより、貼ったあとにエージェントが賢くなること

公式資料：手順

2 セットアップの流れ



AIエージェントに必要なスキル・MCPサーバー・AWS認証設定を一括で自動構築。すぐにLambda開発をAIと一緒に始められます



© 2026, Amazon Web Services, Inc. or its affiliates. All rights reserved.

コンソール → コピー → 貼り付け → 自動設定 → Lambda 開発サポート

One-click Lambda setup prompt

説明：5ステップの整理

Step	やること	内容
1	Lambda コンソールを開く	開始導線から prompt を表示
2	Copy agent prompt	セットアップ用プロンプトをコピー
3	AIエージェントに貼る	Cursor などに貼って実行
4	スキルと MCP を自動設定	Skills / MCP / 認証を導入
5	Lambda 開発を AI が支援	設計～運用をエージェントが支援

貼った瞬間にデプロイはされません。**エージェント側の準備**が始まります

公式資料：詳細フロー

One-click Lambda setup prompt – セットアップの流れ

Lambda コンソールからワンクリックでプロンプトを取得し、AIエージェントをLambda開発向けにセットアップ



セットアップ後のAIエージェントでできること（例）



コード生成

Lambda関数のコードをPython/Node.js/Javaなどで生成



アーキテクチャ設計

ベストプラクティスに基づくサーバーレスアーキテクチャを提案



IaC生成

SAMテンプレートやAWS CDK (TypeScript/Python) を生成



IAMポリシー生成

最小権限のIAMロールやポリシーを自動生成



デプロイ支援

デプロイスクリプトの生成やエラー解決をサポート



運用・監視サポート

CloudWatch Logsの分析やアラーム設定を支援



© 2024, Amazon Web Services, Inc. or its affiliates. All rights reserved.



ポイント

ワンクリックでAIエージェントをLambda開発に最適化し、開発生産性と品質を大幅に向上できます。

Skills / MCP / 認証を一括セットアップ。その後の開発支援までつながる

One-click Lambda setup prompt

説明：自動で入る3つ

① AWS認証

AWS にログインできるか確認
未設定なら接続方法を案内

② Skills

serverless 開発の手順・定石を提供
例: API接続、権限、定石パターン

③ MCP

エージェントが利用する接続口
Serverless MCP など

Skill で手順を揃え、**MCP** で操作手段を渡す

公式資料：支援範囲

3 AIエージェントでできること

セットアップされたAIエージェントは、Lambda開発のあらゆるフェーズをサポートします。

 コード生成 Python/Node.js/Java などのLambdaコードを生成	 アーキテクチャ設計 - ベストプラクティスに基づく構成を提案 - サーバーレスアーキテクチャを設計	 IaC 生成 - AWS SAM テンプレート生成 - AWS CDK (TypeScript/Python) のコード生成 - CloudFormation テンプレート生成
 IAM最小権限設計 - 最小権限のIAMポリシーを作成 - ロール・ポリシーの設定を支援	 AWS サービス連携 - API Gateway / S3 / DynamoDB / SQS / EventBridge などとの連携を実装 - トリガー設定を生成	 運用・監視支援 - CloudWatch Logsの確認・解析 - エラー原因の分析と修正提案 - ログ保存期間やアラーム設定を支援
 デプロイ支援 - デプロイスクリプト生成 - SAM/CDK デプロイ手順の提示 - CI/CD パイプライン生成	 テストコード生成 - 単体テストコードの生成 - モック・スタブの作成 - テスト実行手順の提示	 ドキュメント生成 - README / 設計書の生成 - API仕様 (OpenAPI/Swagger) 生成 - 運用手順書やRunbookの生成

 設計から実装、テスト、デプロイ、運用までを一気通貫でサポートし、**Lambda開発の生産性を最大化**します。



© 2026, Amazon Web Services, Inc. or its affiliates. All rights reserved.

設計・実装・テスト・デプロイ・運用まで一気通貫

One-click Lambda setup prompt

説明：セットアップ後に何が楽？

例えば、こんな頼み方がしやすくなります

- 「API Gateway と Lambda をつないで」
 - 「タイムアウトする原因を見て」
- 「DynamoDB と連携する関数を作って」
 - 「SAM / CDK の雛形を作って」

抜けやすい設定（CORS・権限・ログなど）も踏まえて案内しやすくなります

公式資料：リソース例

4 生成できるリソースの例

AIエージェントは、Lambda開発に必要なAWSリソースをコードとして生成・構成します。

 Lambda AWS Lambda関数の作成・設定	 API Gateway REST / HTTP APIの作成・設定	 Amazon S3 バケットの作成・設定、 イベント通知設定	 Amazon DynamoDB テーブルの作成・設定、 インデックス定義
 Amazon SQS キューの作成・設定、 アクセスポリシー設定	 Amazon EventBridge ルールの作成・設定、ターゲット設定	 AWS Secrets Manager シークレットの作成・管理、 アクセス制御設定	 Amazon CloudWatch ロググループ・メトリクス・ アラームの作成・設定
 IAM Role IAMロールの作成、 最小権限ポリシーの設定	 AWS Step Functions ステートマシンの作成・設定、 ワークフロー定義	 AWS VPC VPC・サブネット・ルートテーブル・ セキュリティグループの設定	 など多数 上記以外のさまざまなAWSリソース の生成にも対応



これらのリソースを組み合わせて、サーバーレスアーキテクチャを一括で構築できます。



© 2026, Amazon Web Services, Inc. or its affiliates. All rights reserved.

Lambda / API Gateway / DynamoDB / IAM などを組み合わせて構築

One-click Lambda setup prompt

説明：生成できるもの

AIエージェントは、画面操作だけでなく **コードとして** 生成できます

- Lambda 関数本体
- API Gateway / DynamoDB / S3 / SQS など周辺サービス
 - IAM ロール・ポリシー
 - SAM / CDK などの IaC

関数単体だけでなく、**サーバーレス構成一式**をまとめて構築しやすい

公式資料：対応ツール

対応AIエージェント

One-click Lambda setup promptは、主要なAIエージェントで利用できます。



Claude Code
by Anthropic

高い推論能力と
コード生成力で、
Lambda開発を強力に
サポート



Cursor
by Anysphere

エディタに統合された
AIエージェントで、
効率的な開発体験を
提供



GitHub Copilot
by GitHub

コード補完から
アーキテクチャ提案まで、
開発全般をアシスト



**Amazon Q
Developer**

AWSに最適化された
AIアシスタントで、
AWSサービスとの
連携がスムーズ



OpenAI Codex
by OpenAI

強力なコード生成能力で、
複雑なLambdaアプリ
ケーションの構築を
サポート



その他
MCP対応エージェント
など

MCPプロトコルに
対応した各種
AIエージェントでも
利用可能



MCP (Model Context Protocol) に対応

- MCP対応エージェントであれば、簡単にLambda開発環境を構築できます
- スキルやリソースへの接続を通じて、より高品質なコード生成と運用を実現
- 継続的に対応エージェントを拡大中



© 2024, Amazon Web Services, Inc. or its affiliates. All rights reserved.

Cursor / Claude Code / Copilot / Amazon Q / Codex など

One-click Lambda setup prompt

説明：対応エージェント

主要なコーディングエージェントに対応しています

- **Cursor**
 - Claude Code / GitHub Copilot
 - Amazon Q Developer / OpenAI Codex
 - MCP 対応のその他エージェント

使い方は共通：コンソールでコピー → エージェントに貼る

1枚で整理

やること	内容
Copy agent prompt	セットアップ用プロンプトをコピー
AIに貼る	Cursor などに貼って実行
自動で入るもの	Skills / MCP / 認証設定
そのあと	Lambda 開発をエージェントと進められる

よくある誤解

誤解	実際
ワンクリックで関数ができる	しない（エージェント準備）
デプロイまで勝手に完了	しない（貼った後に AI が支援）
AWSコンソールだけで完結	エージェント側の準備機能
誰でも劇的に便利	既に MCP/スキルがある人は差が小さいことも

魔法のデプロイボタンではなく、正しい入口を渡すボタン

誰向け？

向いている人

これから Cursor × Lambda を始める
正しい構成がまだわからない
チームで同じ準備を揃えたい

あまり刺さらない人

すでに MCP / スキルが入っている
コンソールだけで完結したい
「あるんだ」くらいで十分な場合

まとめ

コンソール → コピー → 貼る → エージェント準備完了

それが One-click Lambda setup prompt

出典: AWS 公式資料 (One-click Lambda setup prompt)